

ca-4. アセンブリ言語

(コンピュータ・アーキテクチャ演習)

URL: https://www.kkaneko.jp/cc/ca/index.html

金子邦彦





アウトライン



- 4-1 アセンブリ言語とは
- 4-2 逆アセンブル
- 4-3 Visual Studio のデバッガー
- 4-4 変数のアドレスの確認



4-1 アセンブリ言語とは

4-1 アセンブリ言語とは



- アセンブリ言語とは人間が理解しやすいように, マシン語(機械語)を翻訳した言語
- アセンブリ言語の命令と、マシン語の命令が、ほぼ1対1に対応

実行型ファイルの例

アセンブリ言語の例

Pentium 糸列プロセッサでの アセンブリ言語の主な命令



種類	命令	意味
データ転送と 実効アドレス	MOV	データ転送 ※ ロード,ストア,プッシュ, ポップ
	LEA	実効アドレスのロード
算術演算	ADD	加算
	SUB	減算
	IMUL	乗算
	IDIV	除算
	SAR, SAL	算術シフト
論理演算	AND	論理積
	OR	論理和
	SHR, SHL	論理シフト
比較	CMP	比較
	TEST	AND による比較
ジャンプ(分 岐)	JMP	無条件ジャンプ(無条件分岐)
	J??	条件ジャンプ(条件分岐)
サブルーチン	CALL	サブルーチン呼び出し(サブルーチンコール)
	RET	サブルーチンからの復帰



4-2 逆アセンブル

逆アセンブル

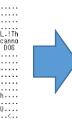


マシン語をアセンブリ言語に翻訳すること

ビルド

逆アセンブル





edi,[ebp-0D0h] 00F117C2 mov 00F117C7 mov ecx,34h eax,0000000000h 00F117CC rep stos dword ptr es:[edi] double d = 2.0; OOF117CE movsd OOF117D6 movsd printf("%f, %f OOF117DB sub esp.8 xmm0,mmword ptr [d] mmword ptr [esp],xmm0 _sqrt (OF112A3h) 00F117DE movsd 00F117E3 movsd 00F117E8 call 00F117ED fstp qword ptr [esp] 00F117F0 sub esp,8 00F117F3 movsd xmm0,mmword ptr [d] mmword ptr [esp],xmm0 offset string "Af, Xf ¥n" (OF16B3Oh) _printf (OF11325h) 00F117F8 movsd 00F117FD push 00F11802 call 00F11807 add esp,14h

return 0;

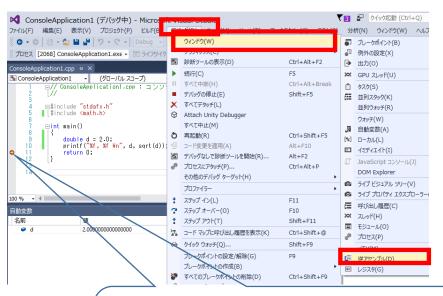
C言語などの プログラミング言語

マシン語

アセンブリ言語

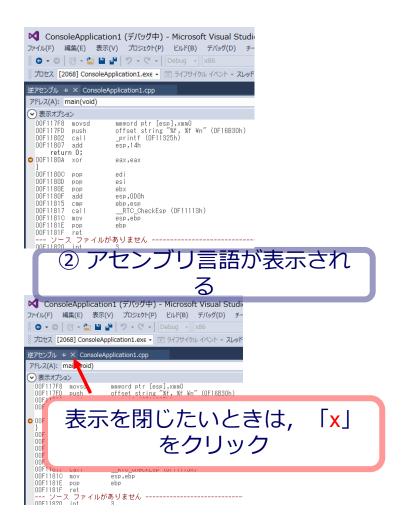
Visual Studioでの逆アセンブル手順





デバッガーを起動済みで, プログラムの実行が中断し ているときに・・・

① 「デバッグ」 → 「ウインドウ」 → 「**逆アセンブル** |



逆アセンブルの結果の例



```
edi,[ebp-ODOh]
00F117BC
           l ea
00F117C2
                        ecx,34h
           MOV.
IOOE11707
                        eax,0000000000h
           MOV
00F117CC rep stos
                        dword ptr es:[edi]
    double d = 2.0;
                        xmmO,mmword ptr [__real@400000000000000
100E1170E
          movsd
                        mmword ptr [d],xmmO
00F117D6
         movsd
    printf("%f, %f \mathbb{\text{Yn}}", d, sqrt(d));
100F117DB
           sub.
                        esp,8
00F117DF
           movsd
                        xmmO,mmword ptr [d]
00F117E3
           movsd
                        mmword ptr [esp],xmmO
                        _sqrt (OF112A3h)
00F117F8
           call
100F117FD
          fstp
                        gword ptr [esp]
00F117F0
           sub
                        esp,8
100F117F3
                        xmm0,mmword ptr [d]
           movsd
                        mmword ptr [esp],xmmO
NNF117F8
           movsd
                        offset string "%f, %f \mathbb{Y}n" (OF16B3Oh)
00F117FD
         push
                        -printf (OF11325h)
NOF11802
           call
00F11807
                        esp.14h
           add
    return 0;
```

元のマシン語での アドレス

アセンブリ言語によるプログラム

アセンブル



- アセンブリ言語を
- マシン語に翻訳すること
- (逆アセンブルの逆)

```
edi,[ebp-ODOh]
                                                                                         00F117C2 mov
                                                                                                               ecx,34h
                        00F117C7 mov
                                                                                                               eax,0000000000h
                                                                                         00F117CC rep stos
                                                                                                               dword ptr es:[edi]
                                                                                              double d = 2.0;
                                                                                          00F117CE movsd
                                                                                                                xmm0,mmword ptr [__real@40000000000000000
                                                                                             117D6 movsd mmword ptr [d],xmm0
printf("%f, %f ¥n", d, sqrt(d));
                                                                                         00F117D6 movsd
                                                                                          00F117DB sub
                                                                                         00F117DE movsd
                                                                                                               xmm0,mmword ptr [d]
                                                                                                               mmword ptr [esp],xmm0
_sqrt (OF112A3h)
                                                                                         ODE117E3 moved
                                                                                         00E117E8 call
                                                                                         00F117ED fstp
                                                                                                               gword ptr [esp]
                                                                                          00F117F0 sub
                                                                                                               esp.8
                                                                                          00F117F3 movsd
                                                                                                               xmm0,mmword ptr [d]
                                                                                          00F117F8 movsd
                                                                                                               mmword ptr [esp],xmmO
offset string "%f, %f ¥n" (OF16B3Oh)
                                                                                                               _printf (OF11325h)
                                                                                         00F11807 add
                                                                                             return 0;
```

マシン語による プログラム

アセンブリ言語による プログラム



4-3 Visual Studio の デバッガー

デバッガー



- デバッガーとは、プログラムの不具合(バグ)の 発見や修正を支援するソフトウェアのこと
 - ※ **バグ**を自動的に取り除いてくれるわけではない

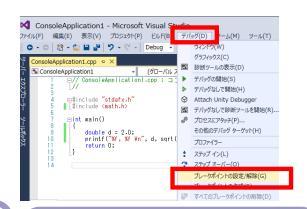
主な機能

- **◆ ブレークポイント**機能: プログラムの実行中断
- ◆ トレース機能: プログラム実行中に変数の値などを表示

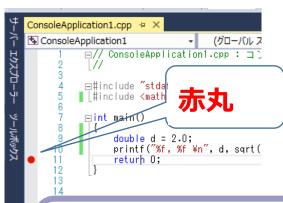
Visual Studio でのブレークポイント設定手順

Database La

 「return 0;」の行を マウスでクリック



② 「デバッグ」→ 「**ブレークポイント の設定/解除**」

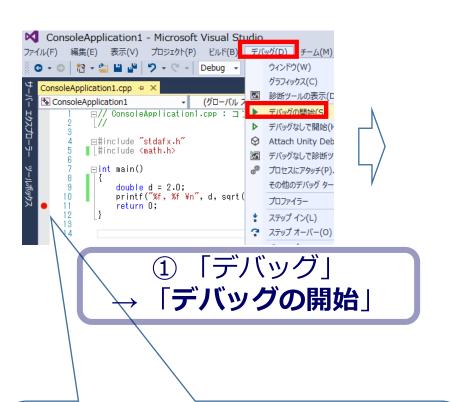


③ ブレークポイン トが設定されるの で**確認**

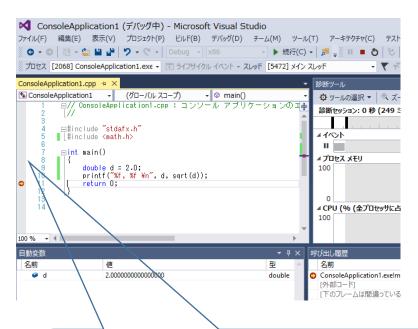
ブレークポイントとは、 プログラムの実行を中断 させたい行. 複数設定可 ブレークポイントを<u>解除</u>したい ときは赤丸をクリック ※ 同様の操作で、ブレークポ イントの設定もできる

Visual Studio でのデバッガー起動手順





ブレークポイントが設定された状態で、**デバッガー**を起動しようとしている



形が変化! これは、<u>プログ</u> <u>ラムの実行</u>が、ここで<u>中断</u>し ていることを示す

デバッガーのステップオーバー機能



デバッガーのステップオーバー機能とは、

ブレークポイントで、プログラム実行が<u>中</u> <u>断</u>しているときに、<u>プログラム実行を1行</u> 進めること

ステップオーバー機能の用途例

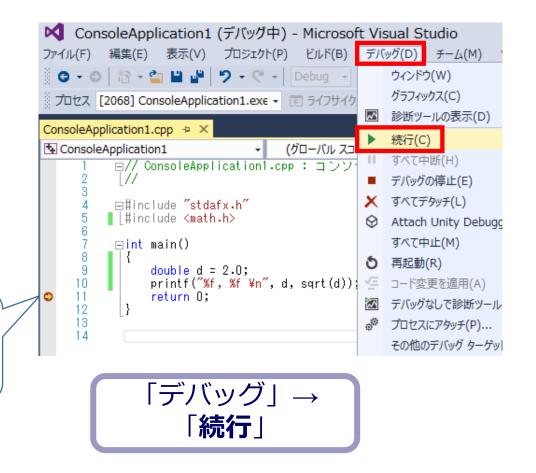


- ・変数の値の変化
 - ※ 変数名と値の対応表



- メモリ中のデータの変化
 - ※ ダンプリスト形式
- プロセッサのレジスタ内のデータの変化
 - ※ レジスタ名と値の対応

ブレークポイントで中断されたプログラム実 行を再開する手順



実行がここで

中断している

変数の値の変化



```
⊟int main()
    static int x, y, z;
    x = 3;
               この行で, x の値は3 に変化
    z = x + y;
               この行で、yの値は4に変化
    return O:
               この行で、zの値は7に変化
```

※「static int x, y, z;」の「static」は、変数 x, y, z のメモリへの格納法を コントロールするキーワード

演習



• Visual Studio を起動しなさい

• Visual Studio で、Win32 コンソールアプリケーション用プロジェクトを新規作成しなさい

プロジェクトの「名前」は何でもよい



Visual Studioのエディタを使って、ソースファイルを編集しなさい

```
⊡int main()
      static int x, y, z;
      x = 3;
      y = 4;
      z = x + y;
      return O;
                      4行追加
```



- ビルドしなさい. ビルドのあと「1 正常終了,0 失敗」の表示を確認しなさい
- → 表示されなければ、プログラムのミスを自分で確認し、修正して、ビルドをやり直す

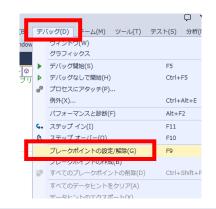




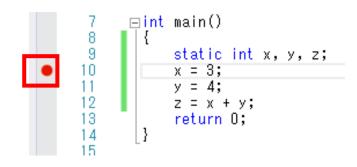
• Visual Studioで「x=3;」の行に, ブレークポイントを設定しなさい

```
int main()
{
    static int x, y, z;
    x = 3;|
    y = 4;
    z = x + y;
    return 0;
}
```

① 「x=3;」の行をマ ウスでクリック



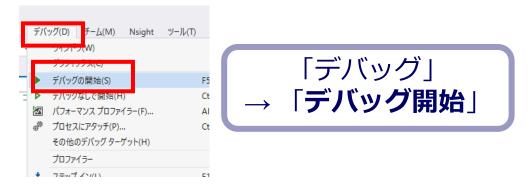
② 「デバッグ」→ 「**ブレークポイントの 設定/解除**」



③ ブレークポイントが設定されるので 確認. 赤丸がブレークポイントの印



• Visual Studioで、デバッガーを起動しなさい.

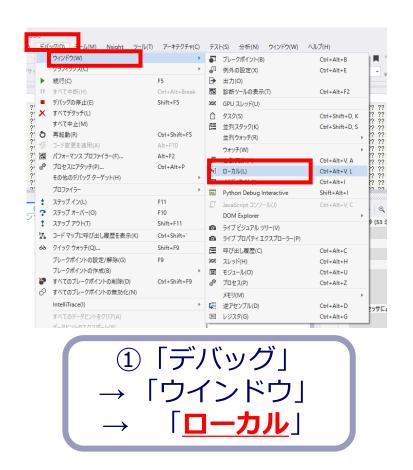


- •「x=3;」の行で,実行が中断することを確認しな さい
- あとで使うので、中断したままにしておくこと

```
「x=3;」の行で実行が
中断している
```



「x=3;」の行で,実行が中断した状態で,変数の値を表示させなさい.手順は次の通り.







② 変数名と値の対応表が 表示される

※ 次ページに拡大図

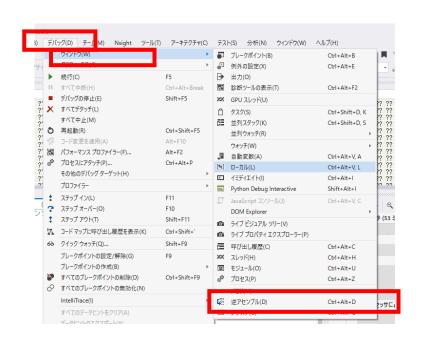


ローカル 2000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000
名前	値
€ X	0
€ i y	0
€ Z	0

「x=3;」は <u>未実行</u>であることを確認!



•「x=3;」の行で,実行が中断した状態で,逆アセンブルを行いなさい.





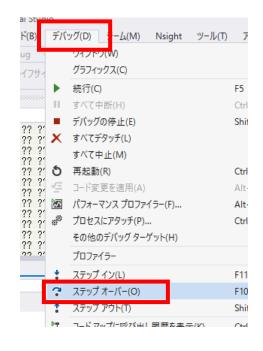
①「デバッグ」→「ウインドウ」→「逆アセンブル」

```
逆アセンブル + × ConsoleApplication7.cpp
アドレス(A): main(void)
表示オプション
  00CA165C
            Tea
                        edi,[ebp-0C0h]
 00CA1662
                        ecx,30h
            MOV
  00CA1667
                        eax.0000000000h
            MOV
                        dword ptr es:[edi]
  OOCA166C rep stos
      static int x, y, z;
      x = 3:
00CA166E mov
                        dword ptr [x (OCA9138h)],3
      y = 4;
  00CA1678
                        dword ptr [y (OCA913Ch)],4
  00CA1682
                        eax,dword ptr [x (OCA9138h)]
  00CA1687
                        eax, dword ptr [y (OCA913Ch)]
  00CA168D
                        dword ptr [z (OCA9140h)],eax
      return O:
  00CA1692
                        eax,eax
  00CA1694
                        edi
  00CA1695
            pop
                        esi
  00CA1696
            pop
                        ebx
  00CA1697
            MOV
                        esp,ebp
  00CA1699
            pop
                        ebp
 DOCATR9A
```

② 逆アセンブルの結果が表示 される



ステップオーバーの操作を1回ずつ行いながら, 変数 x, y, z の値の変化を確認しなさい.



「デバッグ」 → 「**ステップオーバー**」 (あるいは F10 キー)





最後に、プログラム実行の再開の操作を行いなさい。これで、デバッガーが終了する。





4-4 変数のアドレスの確認

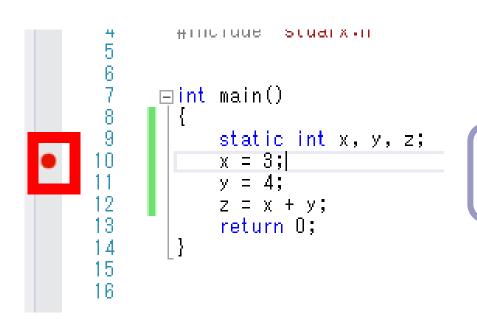


• ソースファイルをそのまま使う.

```
□// ConsoleApplication2.cpp :
45
      #include "stdafx.h"
6
     ⊟int main()
8
          static int x, y, z;
          x = 3;
                               ←そのまま使う
          z = x + y;
          return 0;
```



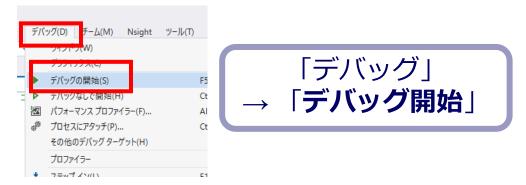
- ブレークポイントの設定もそのまま使う.
- 「x = 3;」の行にブレークポイントが設定されていること再確認しておく



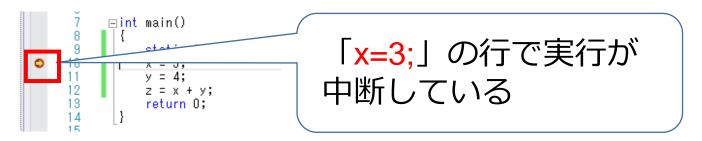
赤丸がブレークポイントの印



• Visual Studioで、デバッガーを起動しなさい.

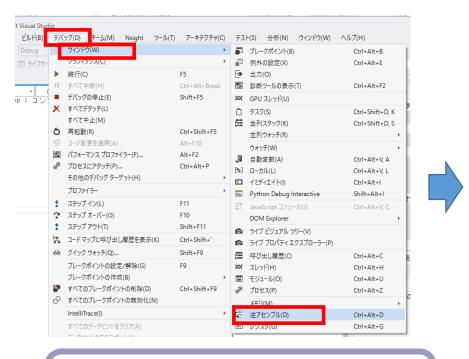


- •「x=3;」の行で,実行が中断することを確認しな さい
- あとで使うので、中断したままにしておくこと





「x = 3;」の行で、実行が中断した状態で、逆アセンブルを行ってみなさい。



①「デバッグ」→「ウインドウ」→「逆アセンブル」

```
UUZԾIBBC rep stos
                         awora ptr es:[eal]
      static int x, y, z;
      x = 3;
O028166E
                        dword ptr [x (0289138h)],3
      y = 4;
  00281678
                        dword ptr [y (028913Ch)],4
      z = x + y;
  00281682
                         eax,dword ptr [x (0289138h)]
  00281687
                         eax, dword ptr [y (028913Ch)]
                         dword ptr [z (0289140h)],eax
  0028168D
            MOV
      return 0:
```

② **逆アセンブルの結果**が表示 される

逆アセンブルの結果の見方



```
元の Visual C++ プログラム
                       ——awora ptr es:[բ<mark>ա</mark>լ
      static int x, y, z;
                          dword ptr [x (D289138h)
O028166E mov
                          dword ptr [y (D28913Ch)],4
  00281678
             MOV
        = x + y;
                          eax,dword ptr [x (<u>1289138h)</u>]
  00281682
             MOV
                          eax,dword ptr <u>[v</u>
  00281687
             add
                          dword ptr [z (D289140h)],eax
  0028168D
           mov
      return O;
```

Visual C++ に対応した アセンブリ言語プログラム



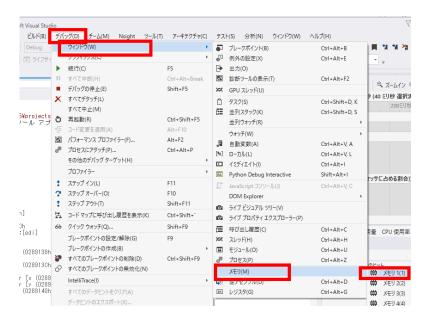
「x = 3;」の直下に、x のアドレスが表示されているので確認しなさい。後で使う。

例) アドレスは **0289138h**

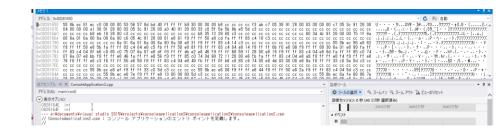
```
ບບຂຽງເອຍຕໍ່ rep stos - awora ອ້າງ es:[ear]
      static int x, y, z;
      x = 3;
                        dword ptr [x (0289138h)],3
0 0028166F mov.
      y = 4;
                        dword ptr [y (028913Ch)],4
  00281678 mov
      z = x + y;
  00281682 mov
                        eax,dword ptr [x (0289138h)]
                        eax,dword ptr [y (028913Ch)]
  00281687 add
  0028168D mov
                        dword ptr [z (0289140h)],eax
      return O:
```



「x=3;」の行で、実行が中断した状態で、メモリの中身を表示させなさい、手順は次の通り。







② メモリの中身がダンプリスト形式で表示される



「アドレス」のところに「0289138h」のように記入。「0289138h」は、<u>手順6で調べた値を転記</u>.
 末尾に「h」



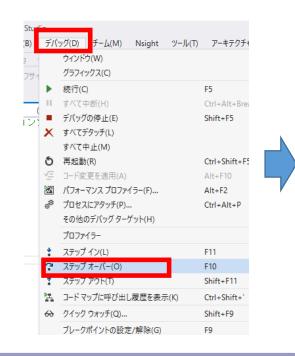
③ アドレスのところに、x のアドレスを書き、末尾に「h」を付けて Enter キーを押す

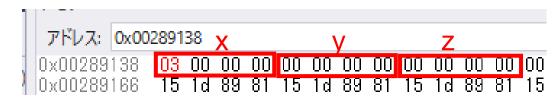
④ メモリの中身が表示される

「x = 3;」は<u>未実行</u>で あ ることを確認!



• 1回だけステップオーバーの操作を行い、変数 x の値が 3 に変化することを確認しなさい.





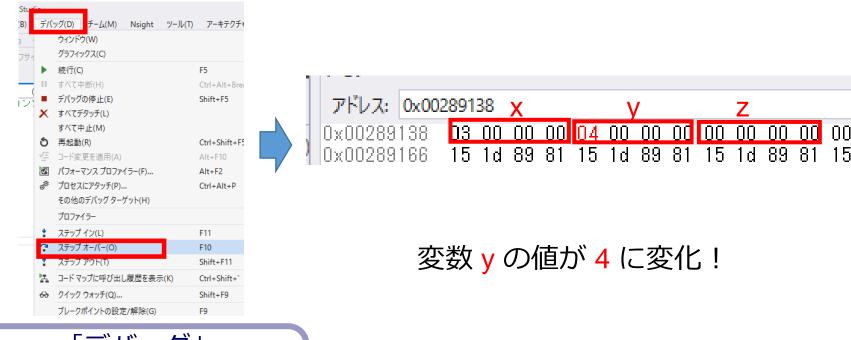
変数 x の値が 3 に変化!

「デバッグ」 → 「**ステップオーバー**」 (あるいは **F10 キー**)

「x = 3;」が実行された



もう1回だけステップオーバーの操作を行い、変数yの値が4に変化することを確認しなさい。



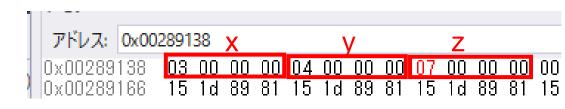
「デバッグ」 → 「**ステップオーバー**」 (あるいは **F10 キー**)

「y = 4;」が実行された



さらに3回、ステップオーバーの操作を行い、変数zの値が7に変化することを確認しなさい.





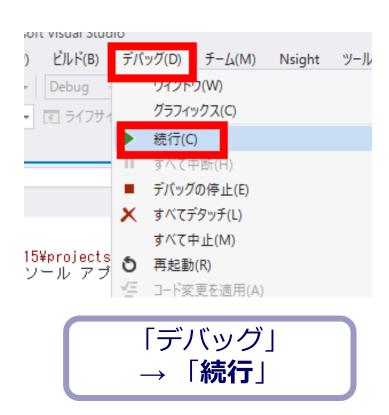
変数 z の値が 7 に変化!

「デバッグ」 → 「**ステップオーバー**」 (あるいは **F10 キー**)

[z = x + y;]が実行された



最後に、プログラム実行の再開の操作を行いなさい。これで、デバッガが終了する。



アセンブリ言語の中のメモリアドレス



・プログラム

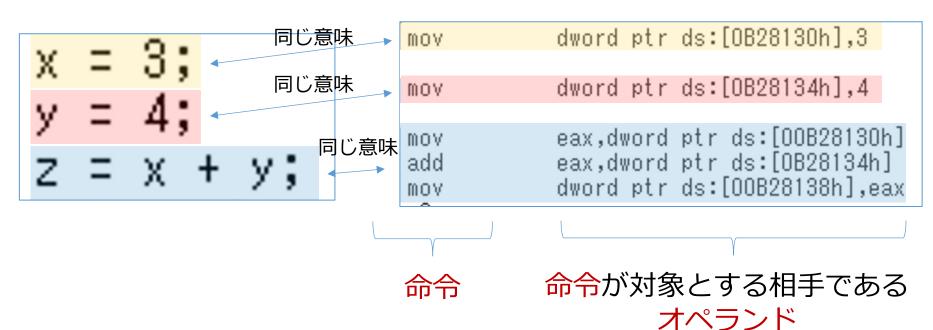
```
変数 x のメモリア
   x = 3;
                                             ドレス
                   dword ptr [x (OCA9138h)],3
|00CA166E mov
                                            変数 y のメモリア
                    dword ptr [y (OCA913Ch)],4 ドレス
00CA1678
         MOV
    z = x + y;
                                               変数 x のメモリア
                    eax,dword ptr [x (OCA9138h)]
00CA1682
         MOV
                                               ドレス
                    eax,dword ptr [y (OCA913Ch)}
00CA1687 add
                                               変数 y のメモリア
00CA168D mov
                    dword ptr [z (OCA9140h)],eax
                                               ドレス
    return 0;
                               変数 z のメモリア
                               ドレス
```

C++ 言語とアセンブリ言語



Visual C++ の プログラム

アセンブリ言語

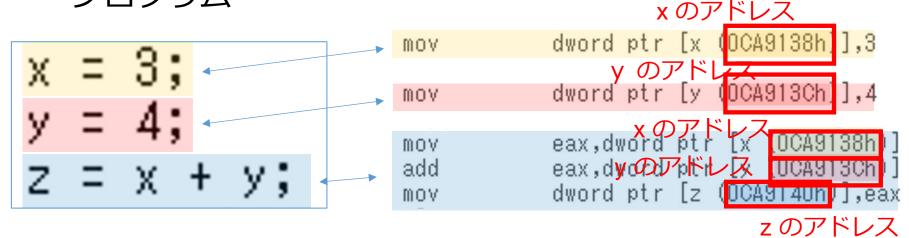


C++ 言語とアセンブリ言語





アセンブリ言語



C++ 言語とアセンブリ言語



